

令和元年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

外国語

	指導上の課題の分析	指導のめあて	授業改善の視点	評価（成果と課題）
5年	<p>○楽しく活動に取り組んでいる児童が多いが、学習したことを活用してコミュニケーションを取ることが難しい。</p> <p>○英語を話したり、聞いたりすることに自信がない児童が多い。</p>	<p>○ジェスチャーなども活用しながら友達やALTと積極的にコミュニケーションを図ろうとする力を伸ばす。</p> <p>○身近で具体的な出来事や物を表す単語の意味を聞き取り、理解することができるようにする。</p>	<p>○歌やアクティビティを多く取り入れ、楽しんで外国語を学ぶことができるようにする。</p> <p>○5年生から6年生にかけて、何度も繰り返し学習し、聞き取る力に自信をもてるようにする。</p>	<p>○児童が楽しく主体的に学ぶ姿が見られた。何度も表現を復習するなど繰り返しの学習を徹底したことで、発展的な学習にも取り組めるようになった。</p> <p>○日頃の授業での活動やTGGでの学習を通して、話すことや聞くことに少しずつ自信ができてきている。</p>
6年	<p>○外国語によるコミュニケーションをより積極的に図ろうとする態度を伸ばす必要がある。</p> <p>○アルファベットを使って語句や文章を書くことを苦手と感じている児童が多い。</p>	<p>○コミュニケーションを図る楽しさを味わいながら、自信をもって表現できるようにする。</p> <p>○アルファベットの大文字と小文字を区別し、教科書や教師が書いた例文を参考にしながら、慣れ親しんだ語句や文章を書いて表現できるようにする。</p>	<p>○ペアや少人数グループなど、コミュニケーションを図る場の設定を工夫し、自信をもてるようにする。</p> <p>○継続的にアルファベットの練習を取り入れ、自信をもって英語での文章や語句を書くことができるようにする。</p>	<p>○積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする姿が見られるようになった。</p> <p>○アルファベットは正確に書けるようになってきているが、単語や文章を書く力はまだこれから伸ばしていく必要がある。</p>

